めぐみの森だより　2023 年 6 月号

社会福祉法人　雲柱社　めぐみの森保育園　　☎　03-3480-4448

新年度 2 か月あっという間に過ぎましたね。まだまだ登園時預けられるのを嫌がり、後ろ髪惹かれる思いで仕事に向かう保護者の姿もありますが、日中の子どもたちは、少しずつ笑顔が見られ、担任との関係性も新しく作られたり、さらに深まったり、これからの生活がますます楽しみになってきました。

そんな 5 月の夕方、インターフォンがなったので出てみると、画面の下の方に黒い頭だけが映っています。「どなたですか？」「〇〇です！」と昨年卒園したばかりの 1 年生でした。とりあえず電気錠を解除すると、「あそびにきました。」と、手にはキッズ携帯を持ち、どうやらママと電話をしている様子。「ママ。いま、ほいくえんきてて、せんせいにかわるね。」と突然携帯を渡され、保護者の方と電話越しの再会でした。そのお子さんはいつも隣のいずみ児童館の学童に通っているので、「学童は？」「きょうはおやすみ。」学童は行かなかったけど、自由来館で児童館に遊びにきていたようです。事務室前をひと回りした後、「保育園は、児童館みたいな自由来館はないのよ。」といいながら児童館に送りだしていると、もう一度ママに電話を始めました。「ママ、まだかえらなくていい？」「そろそろ病院行くから帰っておいで。」「びょういんおわったらまたきていい？」「病院終わった後は遅いよ。」電話が終わると、今度は私に「びょういんおわったらきていい？」「保育園はもう入れない時間だよ。」「え、だってほいくえんおそくまでやってるじゃん。」そういうことはよくわかっているようです。

ちょっとした時間でしたが、卒園したお子さんと触れ合うとてもいい時間となりました。以前働いていた保育園では卒園した年の6月、1 年生とその保護者をお呼びする『だんご虫の会』を企画したり、中学校入学前の 6 年生を招待する『6 年生の会』を企画したりしていたことを思い出しました。特に『だんご虫の会』は、慣れない小学校での生活を 2 か月過ごした子どもたちが、保育園で懐かしい友だちと思いきり遊ぶ時間を過ごし、保護者の方はお菓子を食べながら保護者同士話しをする時間を過ごし、「ホッとできた。」ととても好評な企画でした。

めぐみの森でも、今後卒園児との交流を何か考えられるといいなと思いました。

記：園長　藤本　紘子

今月のおすすめ紹介

5/21（火）横浜にある『海の公園』へ潮干狩りに出掛けました。潮干狩りと言えば、“あさり”と張り切って狩り始めましたが、1cm程度のちいさいあさりがかろうじて見つかる程度でいっこうに見つかりません。人が集まっているところを観察すると、ほとんどの人があさりではなく、“マテ貝”という細長い貝を採っていました。事前の情報でマテ貝が採れることも調べてはあり、その採り方は特殊で、「5mm程度の穴に塩をかけると驚いて顔を出す。砂から出たマテ貝を引っこ抜く。」とにもかくにも塩がないとはじまらない。わかっていたので、塩を用意していたのですが、塩を持ってくる担当が体調不良で急遽来られなくなり、私たちに塩はありません。あきらめきれず、マテ貝採りの達人たちの様子をさらに観察すると、塩を使わず大量のマテ貝を採取している方を発見！マテ貝がいるであろう深くまで砂を掘り、素手で採る。これだけでした。そんな簡単にいくのかと思いつつ、真似してみるとコツを掴めば採ることができ、案外簡単ではないところがさらに面白く、すっかりはまってしまい終わってみると、2hで100匹の収穫でした。マテ貝採り、もう少し楽しめるようなので、よろしかったら体験ください。ちなみに、味もすごく美味しいですよ！！